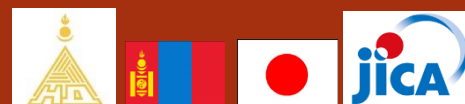


佐藤・年金数理短期専門家との記念撮影（於：モンゴル日本人材開発センターでの実習）



SINRAI PROJECT JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト ニュースター第7号 2017年1月



★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★

主な内容（次項）

日本からの数理の専門家による数理研修（講義・実践演習）が行われました。



講義の様子

12月12日～12月16日、厚生労働省年金局数理課数理調整管理

官である佐藤専門家による年金数理の講義が、労働・社会保障省、医療・社会保険庁、国立労働・社会保障・人口問題研究所の職員を対象に、医療・社会保険庁にて行われました。

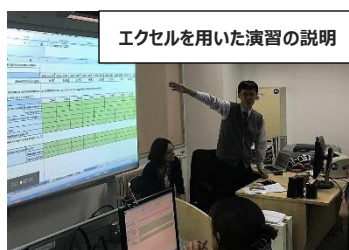
エクセルを用いた演習



日本の年金財政の検証方法を説明するとともに、モンゴルの年金の状況をどのように見ていかお互い勉強しました。また、長期にわたる年金の推計をどのように行うかについて、モンゴル・日本人材開発



質問に答えている様子



エクセルを用いた演習の説明

たが、参加者はお互いに助け合って、理解を深めていました。また、参加者からは「非常に貴重な研修だった、今後も能力向上のため努力を続けたい」との声が聞かれ、充実した研修となりました。修了証をもらった皆さんはとても晴れやかな顔をしていました。今後の年金数理専門家のモンゴルの皆さまの成功をお祈りするとともに、全力でバックアップしていきたいと思います。



←研修修了証の授与

センターのパソコンルームにおいて、モンゴルの実際の人口動態に基づいて実践演習も行いました。

高度な内容も含まれていま



連載「草原の国の社会保障」

モンゴルにおける社会保険の実情や、本プロジェクトを通して思う事などを随時お伝えいたします。今回は、「中間所得層の創出」についてです。（写真：モンゴルの初日の出）



プロジェクト合同調整委員会の開催

12月21日、第1回・プロジェクト合同調整委員会（通称：JCC）がモンゴル労働・社会保障省にて開催されました。（写真：合同調整委員会終了時記念写真）

草原の国の社会保障（第 1 話） 「中間所得層の創出」

皆さま、こんにちは。今回は、中間所得層を創出するための手段である「所得再分配」について、お話しします。

日本もモンゴルも、自分や家族を支えるため、自らの才覚で社会からお金をいただくことで生活が成り立っています。ところが、これが行き過ぎると、お金や土地が特定の人に集中していくこととなります。もちろん、自らの才覚でお金や土地を増やしていくことは悪いことではありません。しかし、自分の力ではどうしようもないほど、この格差が開いてしまうと、どうなるでしょうか。数少ない人だけが国全体の資産の大半を牛耳ることになってしまうと、社会が不安定な方向に向かっていきます。

こうした社会の不安定を防ぐため、社会保障制度と累進課税を通じて、「所得再分配」を行っています。社会保障制度は、貧困の状態にある人、他、貧困に陥る可能性の高い人（高齢者、母子家庭、病弱な方など）を支援するものです。そして、累進課税制度は、所得の高い者に対し、より高い税率を適用する仕組みです。このように所得の高い者がより多く税金を納め、その税金で得たものを、社会保障制度を通じて所得の低い者に回すことを「所得再分配」といいます。

実は、所得再分配は、中間所得層を増やし、経済を活性化させる効果があります。人口に占める割合のうち、中間所得層のボリュームが多くなる

と、その層が消費者として大きな購買力を持つこととなります。そうすると、企業は大きな購買力を持つ中間所得層向けの商品を提供することになり、経済が活性化していきます。結果的に、企業を所有する富裕層も所得再分配の恩恵を受けることになるのです。

社会保障制度というと、「国がお金持ちからお金を奪い、所得のない人に施すもの」と思いがちです。しかし、これは大きな間違いです。社会保障制度は、低所得者のためだけでなく、富裕層にとっても大いに役立っていることを、ぜひ理解いただきたいと思います。

チーフアドバイザー 山下 護

第一回合同調整委員会が開催されました。



12 月 21 日、モンゴル労働・社会保障省において、プロジェクトの第一回合同調整委員会が開催されました。ムンフゾル労働・社会保障省政策・企画局局長が、この合同調整委員会の議長を務め、医療・社会保険庁や大蔵省、JICA モンゴル事務所から関係者が出席しました。2016 年 5 月にプロジェクトを開始してから約半年間の活動

（ウィークリー・ミーティング研修会、本邦研修、日



本からの接遇や年金数理の短期専門家招へい、新聞への記事投稿や大学での講演を通じた広報活動など）について報告を行ったほか、2017 年の活動計画について、合同調整委員

会メンバーによる議論の結果、承認されました。

プロジェクト名の愛称が「SINRAI Project」に決定しました。

また、合同調整委員会で、「社会保険実施能力強化プロジェクト」の愛称が「SINRAI Project」に決定されました。プロジェクトの英語名 (Project on Strengthening the Capacity for Social Insurance Operation) の重要な単語からいくつか文字を借用し、作りました。モンゴル国民の社会保険システムへの信頼、プロジェクトを協力して実施している日本とモンゴルの信頼関係を表現する「SINRAI」という言葉が入っているこの愛称は、多くの方に親しみをもって覚えてもらえることを期待しています。引き続き、SINRAI PROJECT への皆さまのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします！



「SINRAI PROJECT」へ賛成をして下さっている様子

プロジェクト公式 Facebook Page もご覧下さい！

フェイスブックページでは、日々の活動の情報がタイムリーに発信されています。また、専門家による社会保険に関する記事もお読みいただけます！！

Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл
作成者: Shuud.mn [?] - 11月17日 15:01

Нийгмийн даатгалын үйл ажиллагааны чадавхийг бэхжүүлэх төсөл"-ийн ахлах зөвлөх Ямашита Мамору-н бичсэн нийтлэлийг хүлээн авна уу. JICA 「社会保険実施能力強化プロジェクト」 山下チーフアドバイザーの記事です。「年金保険料と保険料収入の適切な管理」



FACEBOOK の
QR コードはこちら→



編集後記：プロジェクトを実施しているウランバートルでは、最低気温が毎日 -25℃を下回っています。しかし、ニューイヤーのカウントダウン・イベントは屋外で行われ、非常に盛り上がっていました！



↑カウントダウンの花火

プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内 6 階 602 号室

電話(FAX)番号：(+976)-11-325125

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

公式 Facebook アカウント：

Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл